

アール医療専門職大学図書館

ニュースレター 第8号

2023年2月発行



春の長期貸出を実施します！

2月6日（月）から、図書の長期貸出をします。対象は、専門職大学と専門学校の理学・作業療法学科の在校生です。4月21日（金）まで借りることができます。単位認定試験対策、実習準備、国家試験対策に是非ご利用ください。なお、国試対策用の書籍は、引き続き1日貸出になります。

また、卒業生（現4年生）は、2月28日（火）が貸出期限になります。

特集「災害に備える」

本年（2023年）1月17日は、阪神大震災から28年目、3月11日は東日本大震災から12年目になります。近年、地震だけでなく台風や大雨、大雪、火山噴火などによる災害が多数発生しており、日頃の備えが大切になってきました。そこで本号では、災害時の保健・医療・福祉活動に関する実際や、サバイバル術について書かれている図書を紹介します。

・みんなで取り組む災害時の保健・医療・福祉活動

園井 修、他（編集） 南山堂

本書は、災害や緊急事態の時とその後も含む健康危機管理について、感染症対策や食料・栄養対策、心のケアなどの実際について、災害での経験を含めて書かれています。特に後半には、皆さんが目指す医療・福祉関連職が関連した災害派遣に関するチームとして、医療チーム（DMAT）、リハビリテーション支援チーム（DRAT）、福祉チーム（DWAT）が紹介され、その役割が記載されています。将来災害に直面した際、各専門職としてどのような動きをすれば良いかを知る参考書になります。



・世界のどこでも生き残る完全サバイバル術 マイケル・S・スウィーニー著 日経ナショナル ジオグラフィック社

世界中の自然の素晴らしさを写真やイラストで紹介するナショナルジオグラフィック協会が、地球上の

あらゆる場所や困難でのサバイバルに役立つ方法を紹介しています。

最近は、スマートフォンなどの通信機器が発達し、災害に対する情報や対応について簡単に知ることができるようになりましたが、停電や断水などにより、通信機器も含んだ普段の生活で必要なものが使えなくなる可能性もあります。本書は、場所を自宅・高山・砂漠等のエリア別と災害時に分けて、「どこにいても」「自分と家族を守る」方法として、火のおこし方や水を使わない調理法、暖房の際の注意点などが記載しています。災害に遭う前に一読するべき良書です。

・災害ボランティア入門 実践から学ぶ災害ソーシャルワーク 山本克彦編著 ミネルヴァ書房

皆さんの中にも、災害が発生した後に、ボランティア活動を実際に経験した方や、ボランティアをしたいと思った方もいるかと思います。本書は、東日本大震災の際の学生ボランティアの活動の実際や今後のボランティア活動への提言が、「知る」「動く」「つなぐ」の3つの視点から書かれています。写真や図も豊富ですので、今後のボランティア活動に役立つ書です。



<2月の図書館閉館日>

閉館日（土・日・祝日）は、4・5・11・12・18・19・23（天皇誕生日）・25・26日です。